



平成 28 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社協和エクシオ
代表者名 代表取締役社長 小園 文典
(コード番号 1951 東証第 1 部)
取締役専務執行役員
問合せ先 経営企画部長 酒井 隆司
(TEL. 03-5778-1073)

中期経営計画(2016年度～2020年度)策定のお知らせ

当社は、2016年度を初年度とする新中期経営計画を下記のとおり策定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画の経過ならびに新中期経営計画の基本的な考え方

前中期経営計画(2013 年度～2015 年度)では、「トータル ICT ソリューションをグループ一体で推進し、価値創造と成長基盤を確立する」というビジョンのもと、増収増益および EPS の向上を目指し、業容拡大と生産性の向上・効率化に取り組んでまいりました。ICTソリューション事業本部を設け、新たな成長事業であるソリューションビジネスを立ち上げるとともに、既存事業においても積極的な営業展開により業容拡大を図りました。また、グループ内リソースの一体運用やグループ会社の統廃合などの効率化施策を展開し、生産性の向上に努めました。しかしながら、初年度の 2013 年度は過去最高の売上高、営業利益を達成したものの、その後は通信キャリアの設備投資減少の影響により、継続的な増収増益とはならず、通信キャリア以外の業容拡大が課題と認識しております。

こうしたなか、今回策定した新中期経営計画は、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを見据えた再開発や関連投資が積極化することに鑑み、2020 年度までの5か年計画といたしました。「グループ総力を結集し、トータルソリューションで新たな成長ステージへ」という新ビジョンのもと、グループ一体で既存技術とサービスの融合によるエンジニアリング周辺事業などの拡大により、事業ポートフォリオの再構築を進め、システムソリューション事業を第2の柱へ育成するとともに、コア事業である通信インフラ構築関連の生産性・品質向上や徹底した効率化による収益力強化を図り、より強固な経営基盤の確立に努めてまいります。

また、資本効率の向上、株主還元の充実にも引き続き取り組み、継続的な企業価値の向上を目指してまいります。

2. 新中期経営計画の概要

(1) 中期ビジョン

グループ総力を結集し、トータルソリューションで新たな成長ステージへ

(2) 基本方針

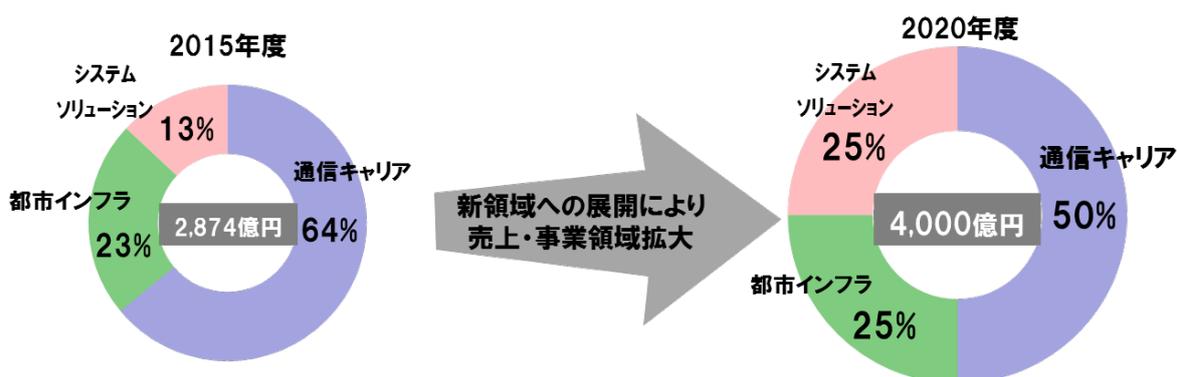
- ① 事業ポートフォリオの再構築を進め、ソリューション事業を第2の柱に育成
- ② 既存技術・サービスの組合せによるエンジニアリング周辺事業の拡大
- ③ M&A、アライアンスの推進による業容拡大
- ④ 業務改善による生産性向上と徹底した効率化による収益力強化
- ⑤ 資本効率の向上による株主価値の拡大

(3)業績目標(連結)

	2020年度
売上高	4,000億円
営業利益	300億円 (営業利益率 7.5%)
R O E	10%
E P S	200円以上

※ROE:自己資本利益率 EPS:1株当たり当期純利益

【目指すポートフォリオ】



(4)主な取り組み施策

業容拡大	<ul style="list-style-type: none"> ◆ソリューション事業の確立とスクラップ&ビルドの迅速化 ◆首都圏再開発、国土強靱化投資に関連したインフラ事業の拡大 ◆M&A、アライアンスの推進
コスト競争力	<ul style="list-style-type: none"> ◆NTT固定事業の徹底した効率化 ◆ITを活用した業務改善による稼働効率化 ◆拠点統廃合、グループ会社再編等による生産性向上
人財リソース	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業動向・繁閑に応じた機動的なマネジメント ◆人材の育成・確保(SE、営業、有資格者) ◆ダイバーシティの推進による組織活性化
グループ体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業環境の変化に柔軟に対応できるグループ運営体制の整備 ◆グループ内シナジーを最大化できる事業構造改革 ◆全国ワンストップ施工体制構築のための協力会社との連携強化

以上